

## 資料1 讚美歌略解

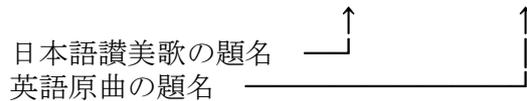
### ■ 讚美歌494番 「わが行くみち」

19 世紀後半の大説教家ムーデーと行動を共にした音楽伝道者サンキーが編集した福音唱歌集( 1878 年)に収録され、米国で広く普及し、日本でも明治時代から今日に至るまで広く愛唱されている。

### ■ 曲名

(1) 日本語讚美歌の題名は、英語歌詞の出だしの前半から、英語原曲の題名は後半から取られている。

英語歌詞の初行 In some way or other the Lord will provide;



タイトル歌詞の選び方の違いは、歌う信仰告白内容の微妙な違いとなって現れているとも言える。

(2) 日本語版は、英語 4 節版の第 3 節を削除し、「どのような時にも主のみ手が助けてくださる」という歌詞全体の意味合いを 3 つの節で意識したものと考えられる(\*1)。

\*1 参考: 日本基督教団讚美歌委員会編, 1998, 『讚美歌 21 略解』, 日本基督教団出版局)

<http://sophiruka.sakura.ne.jp/saigaways/sanbika/sanbika21-463.html>

(3) 日本語版の作曲者側曲名は“ PROVIDENCE ”、「摂理」と訳せる題名がついているが、英語版には“ Providence ”での収録はなく“ the Lord will provide ”となっている。“ Providence ”で収録された曲は別の旋律とのこと。

なお、この讚美歌は、日本では

讚美歌 494 番 分類 = 信頼

讚美歌 21 では 463 番 分類 = ?

教会福音讚美歌では 401 番 分類 = 信仰の歩み・歩みと導き、主題 = 服従・導きで収録され、同じ訳詞で歌われている。なお、聖歌では採用されず。

### ■ 作詞者 Martha Anne Cook ( 1806-1874 )

原作者のマーサー・A・クックはアメリカ生まれ。牧師夫人としか知られていない。

### ■ 作曲者 Philip Phillips ( 1834-1895 )

作曲者フィリップ・フィリップスは、米国東部出身で専門の作曲家ではなかった。

「歌う巡礼者」“ The Singing Pilgrim ”として知られている。19 歳で、歌唱学校で教え始め、シンシナッティで友人とピアノやオルガンや教会学校唱歌集などを販売する Philip Phillips 商会を経営する傍ら、自らメロディオンの車を引いて人通りの多い街角で素晴らしい声を聞かせた。

1875 年のオーストラリアでの百回を超える音楽伝道を皮切りに、1877 年からスリランカ、インド、エルサレム、エジプト、イタリア、英国そして日本にも旅行し、これらの経験に基づいた歌を作っている。